

ロジャー・ウェブスター氏(コルネット・トランペット) マスタークラス

平成31年1月10日(木)18:30洗足学園シルバーマウンテン

ロジャー・ウェブスター氏による模範演奏

ピアノ 大野真理子

J.S.Bach/ Mighty Lord and King all glorious

William Himes /All That I Am

Herman Bellstedt / Napoli

レクチャー

基礎課題のレッスン

主な内容

ウオームアップについて

唇の振動

音を聞くこと

的確な判断をすること



レッスン

学部3年 Georges Hue / SOLO DE CORNET A PISTONS

学部3年 Philip Sparke / CONCERTO 2nd Mov.

ロジャー・ウェブスター Roger Webster 氏は、30年以上もの間、英国ブラスバンドの名手として最高水準の演奏を届けており、これまでにブラック・ダイク・バンドで10年間、CWS グラスゴー・バンドで7年間、グライムソープ・コリアリー・バンドで4年間、それぞれ首席奏者を務めています。また、これまで世界25カ国を超える数々の演奏会場でソロ奏者としても活躍。BBCフィルハーモニックの演奏会や録音にも参加し、主要なオーケストラ作品も演奏してきました。

教育者としての貢献も広く知られており、対人恐怖症、とりわけ「あがり症」に悩む奏者たちの支援にも取り組んできました。

本日のマスタークラスにおいて、氏は模範演奏の曲間に会場の学生に対して、様々な質問をされました。「毎日練習はしますか」「ウオームアップはしますか」「どのように自分の音色を感じていますか」という私たちが普段あまりにも当たり前のように行っている一つ一つの課題に対して、学生たちがもう一度しっかりと自分の頭で考え、感じて、それを毎日の積み重ねとして行えるように、時には冗談も交え、会場の緊張を解しながらレクチャーに移行しました。レクチャーでは会場の学生たちに実際に音を出してもらい、急遽指名された学生に壁際の近くで音を出して、自分の音を正しく判断するテクニックも伝授されました。氏が英国から持参された歴史的な名器(1874年製のコ

ルネット)も紹介され、コルネットについての様々な知識や奏法、音色に対する理解やその魅力を余すことなく学生に伝える姿が大変印象に残りました。

後半の学生のレッスンにおいては、具体的に作品に対してのアプローチ、ペースの配分や作品の理解、フレーズの処理や息の支えなど、細部にわたって演奏を魅力的にアピールするための様々なレッスンを行って下さいました。世界的名手のコルネット奏者の演奏とレクチャー、レッスンを受けることができ、大変有意義な時間を過ごすことができた公開講座でした。
報告書(深石宗太郎)

